

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	7	課題区分	C
横断的な課題	環境にやさしく自然災害に強い地域づくりの促進				
地域重点政策	大規模災害の経験を生かし「自然災害に強い持続可能な長野地域」をつくる				
実施機関	長野地域振興局			担当課	所属 環境・廃棄物対策課
事業名	長野地域食品ロス削減推進事業			電話	8-245-2159
				E-mail	nagachi-kakyo@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	長野地域において、食事後の食べきれなかった料理の持ち帰りに重点的に取り組み、持ち帰りに対応する飲食店を増加させ、食品ロス削減の取組を推進する。			
	現状と課題	食品ロス量の過半を占める事業系食品ロス量のうち、約4分の1が外食産業から発生しており、その排出要因の約5割が消費者による「食べ残し」と推計される。 食べ残しを減らすため、県では「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」として、小盛メニューの導入や持ち帰り希望者への対応を行う協力店の登録、周知を行ってきたところ。 一方で、持ち帰りに関する法的・衛生的リスクから取組を躊躇する飲食店も多く、なかなか普及していない。			
	内容 (変更後の内容)	管内飲食店を対象とした持ち帰り推進講座の開催 ① 内容 ・「食べ残し持ち帰り促進ガイドライン」の周知 ・先進事例の紹介(講師 小林富雄氏 日本女子大学教授ノドギーバッグ普及委員会委員長) ② 対象者 飲食店、自治体職員 ③ 日時 11月12日(水)14:00～ ④ 場所 長野市生涯学習センター4階大学習室2			
	事業期間	令和7年9月 ～ 令和7年11月			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	(1)持ち帰り推進講座の開催	飲食店を対象とした、「食べ残し持ち帰り促進ガイドライン」の周知 ・先進事例の紹介	48,760	講師謝金 大学教授6,600円×3h=19,800円 旅費 15,200円 高田馬場⇄長野 JR利用(乗車券・新幹線自由席 7,600円×2(往復)) 長野市生涯学習センター使用料 13,760円	
	(2)持ち帰り普及資材の作成	持ち帰り実施の店頭ステッカー、容器用シールの作成	87,120	ステッカー・シール作成 87,120円	
	(3)講座参加店舗募集	e-プロ協力店への案内送付	18,480	郵送料 110円×168通	
合 計		154,360			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	参加者アンケートで、持ち帰りに取り組みたいと回答した人の割合		70%	75%	● 達成
	参加者アンケートで、食品ロス削減に取り組みたいと回答した人の割合		70%	95%	○ 一部達成
					○ 未達成
事業実績・成果	・参加者は31名(飲食店、自治体職員等) ・参加者アンケートでは、講座を受けて食品ロスに取り組もうと思った「はい」95%、持ち帰り対応を他の飲食店に勧めたいか「はい」59%であった。ドギーバッグの販売を考えたいという意見や、自治体職員からは飲食店への周知について県や他市町村と連携したいとの意見があった。一方ですぐには対応が難しいという意見もあった。 ・食べ残し持ち帰りの理解促進に一定の成果があった。				
今後の方向性	・食べ残し持ち帰りの取組を促進するため、住民に分かりやすく情報を届ける方法を検討。 ・飲食店等に対しては「食べ残し持ち帰り促進ガイドライン」の周知により、持ち帰りに関する利用規約の整備や持ち帰りに適する食品の検討等の法的・衛生的リスク低減のための対応について理解促進を図る。				